

GALE Early Arabic Printed Books  
from the British Library

From the  
collections of

LIBRARY  
HSILIRB

大英図書館が所蔵する初期アラビア語刊本をデジタル化、  
アラビア語のフルテキスト検索を実現した画期的データベース

# Early Arabic Printed Books from the British Library

# Early Arabic Printed Books from the British Library

## 大英図書館のコレクションを搭載、 イスラームとヨーロッパの交流を甦らせる画期的データベース

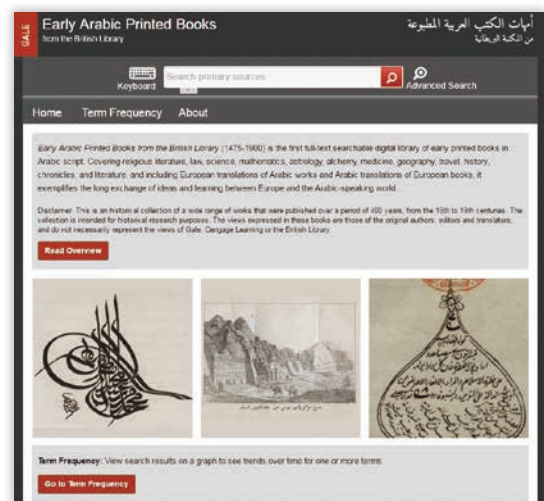
本データベースは、宗教、法律、科学、歴史、地理、文学、言語等、イスラーム諸学の古典的著作のアラビア語刊本と欧米諸語訳刊本、ヨーロッパ諸語のキリスト教関係著作のアラビア語訳刊本を原本に忠実に再現し搭載する、この種のものとしては初めてのデータベースです。搭載されているのは、アレクサンダー・ジョージ・エリスにより編纂された *Early Arabic Printed Books in the British Museum* に基づく大英図書館のコレクションです。西はイギリスから東はシンガポールまで、アジア、中東、ヨーロッパの 200 以上の都市で、15 世紀後半から 19 世紀末までの 400 年の間に出版された約 5,100 タイトル、約 7,000 冊を搭載し、中世以来のイスラーム文化圏とヨーロッパ文化圏の思想と学術の交流、19 世紀におけるイスラーム書物文化の興隆を甦らせる画期的なデータベースです。

## ヨーロッパ、中東、アジアで刊行された初期アラビア語刊本を多数収録

イスラーム世界では写本への愛着が強く、ヨーロッパで刊本が大量に流通し始めた 15 世紀以降もしばらくは写本時代が続き、活版印刷本が普及するには時間がかかりました。本データベースにも 15 世紀から 17 世紀にかけての刊本が含まれますが、アラビア語刊本を含め、すべてベネチア、ローマ、リヨン、パリなど、ヨーロッパ諸都市で出版されたものです。18 世紀になりイスラーム世界でも印刷所が設立されるようになりますが、社会各層に刊本が本格的に普及し始めるのは 19 世紀になってからです。これを牽引したのが、カイロ郊外のブーラクです。本データベースは 16 世紀のメディチ家印刷所（ローマ）、ベネチア、19 世紀のブーラク（カイロ）、ラクナウ、イスタンブール、バイルート、デリー、ムンバイなど、アラビア語刊本の歴史で重要な役割を担った各地の印刷センターの遺産を多数収録します。

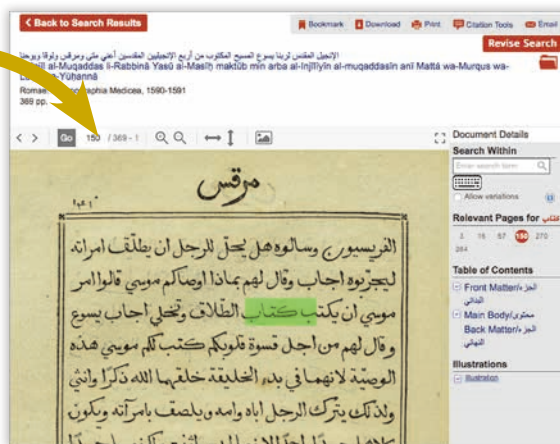
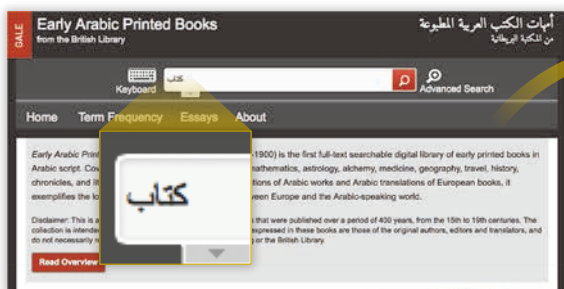
## アラビア文字の全文検索も可能

収録資料の言語は、アラビア語のみならず、英語、フランス語、ドイツ語、ギリシア語、ヒンディー語、オスマン・トルコ語、ラテン語、ペルシア語、シリア語など約 30 言語、書籍の中で部分的にも使用されているとエリスの目録で言及されている言語も含めれば約 50 言語に及びます。このうち、ラテン文字を使う欧語刊本に加え、アラビア語刊本についても OCR で読み取り、全文検索を可能にしました。

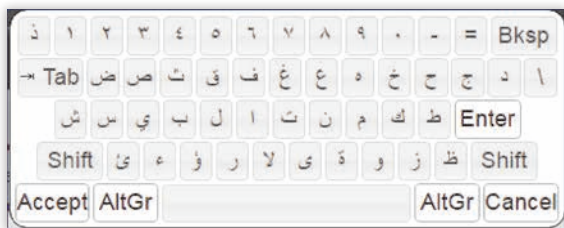


## データベースの概要

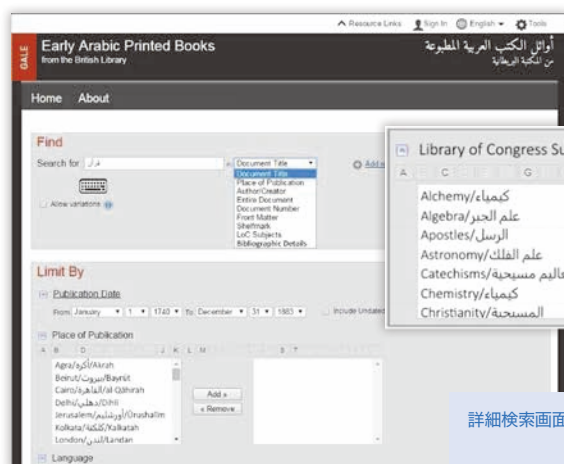
- ◆ **収録タイトル数** : 約 5,100 タイトル、約 7,000 冊（書籍・パンフレット約 4,800 冊、定期刊行物約 2,200 冊）
- ◆ **収録期間** : 15 世紀から 19 世紀
- ◆ **収録言語** : アラビア語 (\*)、ラテン語 (\*)、イタリア語 (\*)、スペイン語 (\*)、ポルトガル語 (\*)、フランス語 (\*)、ドイツ語 (\*)、英語 (\*)、オランダ語 (\*)、ハンガリー語 (\*)、チェコ語 (\*)、デンマーク語 (\*)、スウェーデン語 (\*)、アイスランド語、ロシア語、ルーマニア語、古代ギリシア語、ギリシア語、ヘブライ語、ユダヤ・アラビア語、オスマン・トルコ語、トルコ語、シリア語、古典シリア語、公用アラム語、サマリア・アラム語、クルド語、コプト語、ゲエズ語、ソマリ語、ベルベル諸語（ガダミス語、トゥアレグ語、タマシク語）、アルメニア語、ペルシア語、パシュトー語、パーシャープ語、シンド語、グジャラート語、サンスクリット語、ヒンディー語、ウルドゥー語、ベンガル語、ブラジュ・パーシャープ語、マラーヤラム語、タミル語、標準マラー語、プギス語、中国語、日本語（収録刊本の中で部分的にのみ使用されている言語も含む） (\* フルテキスト検索可能)
- ◆ **印刷地** : ロンドン、パリ、ローマ、ベネチア、フィレンツェ、マドリード、マルタ、ライデン、ライプチヒ、ゲッチングゲン、ウィーン、ウブサラ、イスタンブール、ブーラク、カイロ、アレクサンドリア、チュニス、ダマスカス、バイルート、ケセルワン、エルサレム、バグダード、モスル、テヘラン、シーラーズ、タブリーズ、カザン、ラホール、ペシャワール、ラクナウ、カルカッタ、デリー、ムンバイ、ムラーダーバード、ボパール、カーンプル、タラセリー、シンガポールほか、計 200 都市



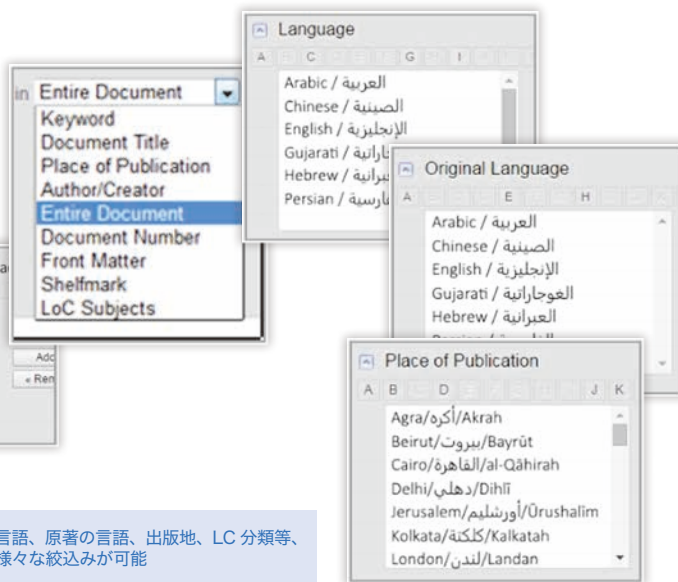
アラビア語は一字一句フルテキスト検索。検索語はハイライト表示



アラビア文字での検索に対応するために  
検索画面にアラビア文字のバーチャルキーボードを実装



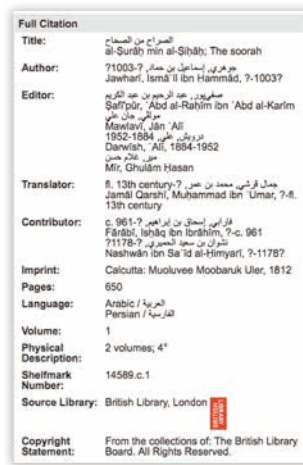
詳細検索画面では、言語、原著の言語、出版地、LC分類等、  
様々な絞り込みが可能



文書表示画面



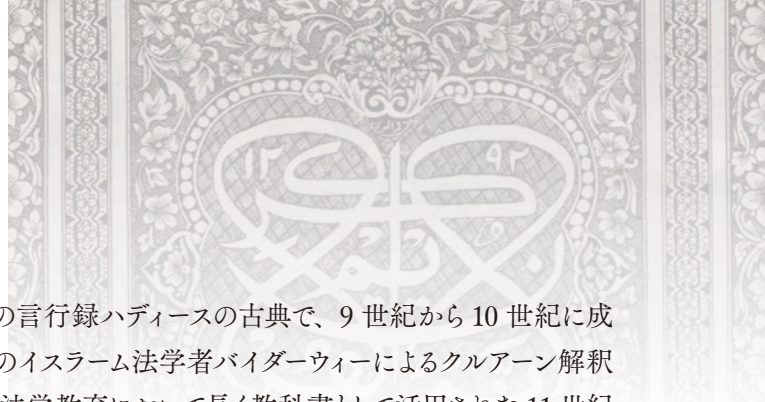
電子目次



目録に基づく書誌情報が完備

詳細検索（検索範囲の指定、掛け合わせ検索、ファジー検索）のほか、印刷、ダウンロード、メール送信、書誌生成とエクスポート、各種ビューワ機能（ページ送り、拡大・縮小、輝度・コントラスト調整）、タグ（公開タグ・非公開タグ）付与・保存、注釈付与・保存機能が実装されています。

# Religion and Law



『クルアーン』の原典やヨーロッパ語訳、預言者ムハンマドの言行録ハディースの古典で、9世紀から10世紀に成立したブハーリーらのスンナ派ハディース六書から、13世紀のイスラーム法学者バイダーウィーによるクルアーン解釈学タフスィールタフスィールの古典『啓示の光と解釈の秘密』、イスラーム法学教育において長く教科書として活用された11世紀のクドゥーリーや12世紀のマルギナーニーらの法学者の著述、12世紀の宗教思想家ガザーリーの大著『宗教諸学の再興』らのイスラーム神学やスーフイズム思想の古典まで、イスラーム写本時代の古典的著作の刊本や17世紀以降にヨーロッパ諸語訳された著作を収録します。

## 《収録タイトル例》

### クルアーン原典・二ヶ国語クルアーン・欧語訳クルアーン

- ◆クルアーン原典  
(アブラハム・ヒンケルマン校訂、1694年、ハンブルク)
- ◆クルアーン原典(1830年、シーラーズ)
- ◆クルアーン原典(1832年、カザン)
- ◆クルアーン原典  
(グスタフ・フリューゲル校訂、1834年、ライプチヒ)
- ◆クルアーン原典  
(ザマフシャリー注釈、1864年、ブーラク)
- ◆クルアーン原典  
(伝イブン・アラビー注釈、1867年、ブーラク)
- ◆アラビア語・ベンガル語二ヶ国語クルアーン  
(ベンガル注釈付、1891年、カラティア)
- ◆アラビア語・グジャラート語二ヶ国語クルアーン  
(ムンバイ、1879年)
- ◆仏訳クルアーン(アンドレ・デュ・リエ訳)
- ◆英訳クルアーン(ジョージ・セイル訳)
- ◆独訳クルアーン(テオドル・アルノルト訳)

### ハディース(預言者言行録)

- ◆アブー・イーサー・ティルミズィー『真正集』
- ◆ブハーリー『真正集』
- ◆アブー・ダーウード『スナン』
- ◆ナサーイー『スナン』
- ◆ムスリム・イブン・ハッジャージュ『真正集』
- ◆イブン・マージャ『スナン』
- ◆クライニー『カーフィーの書』
- ◆イブン・バーバワイヒ『法学者不在のとき』
- ◆トゥースイー『異論伝承に関する考察』
- ◆ナワウィー『義人の庭』
- ◆バガヴィー『スンナの灯火』
- ◆サーガーニー『預言者の光の夜明け』

### タフスィール(クルアーン解釈学)

- ◆バイダーウィー『啓示の光と解釈の秘密』
- ◆イブン・カスィール『クルアーン注釈書』
- ◆スューティー『クルアーン学大全』
- ◆ファフルッディーン・ラーズィー『不可視界の鍵』
- ◆ザマフシャリー『啓示の真理を開示するもの』

### イスラーム法学

- ◆クドゥーリー『提要』
- ◆モッラー・ヒュスレヴ『賢人たちの真珠』
- ◆アブー・ハニーファ『大フィクフ』
- ◆シャーフィイー『ムスナド』
- ◆マーリク・イブン・アナス『ムワッタア』
- ◆ハレビー『海の交点』
- ◆シャアラニー『大いなる天秤』
- ◆マルギナーニー『ヒダーヤ』
- ◆ナワウィー『学生の道』
- ◆シャイバーニー『論証』
- ◆ムハキック・ヒッリー『イスラーム法規』

### イスラーム神学

- ◆ジュルジャーニー『神学教程注釈』
- ◆クシャイリー『クシャイリーの論攷』
- ◆イブン・アラビー『叡智の台座』
- ◆アブー・ハフス・ナサフィー『信条』
- ◆タフタザーニー『ナサフィーの信条注釈』
- ◆ガザーリー『宗教諸学の再興』『誤謬よりの救済』
- ◆シャアラニー『宝石と宝玉』『恩寵の精妙さ』
- ◆ラカーニー『宝玉』
- ◆マルズキー『大衆の信条』
- ◆イブン・アラビー『マッカ啓示』
- ◆アンサーリー『旅人たちの宿駅』
- ◆シュルンブラーリー『解明の光』
- ◆アブドゥルカーディル・ジラーニー『玄妙の開示』

# Science, History and Geography

『医学典範』『治癒の書』など、中世イスラーム最大の学者イブン・スィナーの一連の著作のラテン語訳刊本、14世紀の大旅行家イブン・バットゥータの『旅行記』や歴史家イブン・ハルドゥーンの『歴史序説』の19世紀刊本から、アリストテレス、ユークリッド、ガレノス、プトレマイオスら、イスラーム世界経由でヨーロッパに導入された古代ギリシア・ローマ時代の科学者のラテン語訳刊本まで、近代ヨーロッパ科学の源流に位置付けられる中世アラビア科学全盛時代の歴史的名著を収録します。

## 《収録タイトル例》

### 医学

- ◆イブン・スィナー『医学典範』  
(アラビア語、1593年、ローマ、メディチ家印刷所)
- ◆イブン・スィナー『医学典範』  
(ラテン語訳、1486年、ベネチア)
- ◆イブン・スィナー『治癒の書』
- ◆ラーズィー『天然痘と麻疹』『アル＝マンスーリー』
- ◆ガザーリー『哲学者の自己崩壊』
- ◆ガレノス全集  
(アラビア語版からのラテン語訳、1609年、ベネチア)
- ◆ヒポクラテス『真実の書』(ギリシア語からのアラビア語訳・フナイン・イブン・イスハーク訳、1594年、ローマ)

### 数学

- ◆フワーリズミー『代数学抄録』(1866年ローマ版)
- ◆ユークリッド『幾何学原論』  
(英語版からのアラビア語訳)
- ◆ユークリッド『幾何学原論』  
(ラテン語版からのアラビア語訳・ナスィールッディーン・トゥースィー訳)

### 天文学・占星術

- ◆イブン・ユヌス『ハーキム大天文表』
- ◆ウルグ・ベク『天文表』
- ◆アブー・マアシャル『大序説』(ラテン語訳)
- ◆ファルガーニー『天の運動について』(ラテン語訳)
- ◆アリストテレス『天体論・宇宙論』  
(ギリシア語・アラビア語からのラテン語訳・マイケル・スコット訳)
- ◆プトレマイオス『四部書』  
(アラビア語からのラテン語訳・ティボリのプラトネ訳)

### 哲学

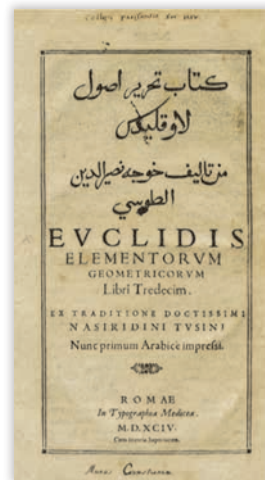
- ◆ガザーリー『哲学者の意図』『哲学者の矛盾』
- ◆イブン・マイムーン『迷える人々の導き』
- ◆エルンスト・ルナン『アヴェロエスとアヴェロエス主義』
- ◆アリストテレス『形而上学』  
(ギリシア語・アラビア語からのラテン語訳・クレモナのゲラルドゥス訳)
- ◆ガザーリー『アルガゼルの論理学と哲学』  
(アラビア語からのラテン語訳・ドミンゴ・グンディサルボ訳)

### 地理

- ◆イブン・バットゥータ『旅行記』
- ◆ジャン・バティスト・デュラン『セネガル旅行記』
- ◆レオ・アフリカヌス『アフリカ誌』
- ◆カズウィーニー『被造物の驚異』
- ◆ヤーカート『諸国誌』
- ◆タフターウィー『パリ要約のための黄金の精錬』
- ◆フェルディナント・ビュステンフェルト  
『アラビア部族・家族系譜表』

### 歴史

- ◆イブン・ハルドゥーン『歴史序説』
- ◆スューティー『エジプトとカイロの歴史』
- ◆サイモン・オークリー『サラセン帝国史』
- ◆イブン・アスィール『完史』
- ◆スューティー『カリフたちの歴史』
- ◆ビールーニー『古代民族年代記』  
(アラビア語から英語訳)



ユークリッド  
『幾何学原論』  
(1594年、ローマ)



イブン・ハルドゥーン  
『歴史序説』  
(1879年、ペイルート)

# Literature, Grammar, Language, Catalogues, and Periodicals

『千夜一夜物語』の原典や各国語訳、アブー・ヌワース、ムタナッビーらの詩集、ヨーロッパの文学作品のアラビア語訳から、イブン・マンズールの『アラビア語辞典』、フィールーザーバーディーの『言海』らの著名なアラビア語辞典や文法書、さらには目録、定期刊行物まで、アラビア文学とアラビア語の豊穡な世界へ誘います。

## 《収録タイトル例》

### 文学

- ◆『千夜一夜物語』(原典)
- ◆欧語訳『千夜一夜物語』  
(英訳、仏訳、独訳、露訳、ハンガリー語訳)
- ◆アフタル『詩集』
- ◆アブー・ヌワース『詩集』
- ◆ハリリー『マカーマート』
- ◆ムタナッビー『詩集』
- ◆アブー・タンマーム『武勇詩集』
- ◆ブフトゥリー『詩集』
- ◆イブン・ファーリド『詩集』
- ◆サアーリビー『知識の冗言』
- ◆サアーリビー『時代の無比珠』
- ◆カズウィーニー『鍵の注釈』
- ◆タフタザーニー『長編』『短編』
- ◆シルヴェストル・ド・サスイ  
『アラビア語の作詞法と韻律提要』
- ◆デフォー『ロビンソン・クルーソー』(アラビア語訳)
- ◆デュマ『モンテ・クリスト伯』(アラビア語訳)

### 言語・文法

- ◆スィーバワイヒ『キターブ』
- ◆イブン・マンズール『アラビア語辞典』
- ◆イブン・マリーク『アルフィーヤ』
- ◆イブン・クタイバ『書記の作法』
- ◆ジャウハリー『スィハーフ』
- ◆フィールーザーバーディー『言海』
- ◆ブスターニー『大海』
- ◆ザマフシャリー『詳解』
- ◆ザマフシャリー『修辞学の基礎』
- ◆シドヤーク『アッサーク・アラッサーク』
- ◆シドヤーク『スィッル・ラヤール』
- ◆ヨハン・ルートヴィヒ・ブルクハルト  
『アラビア語の諺』(英訳)
- ◆トマス・エルペニウス『アラビア語文法』(ラテン語)
- ◆ギヨーム・ポステル『アラビア語文法』

### 目録

- ◆イブン・ナディーム『目録』

### 定期刊行物

- ◆シドヤーク『ジャワーイブ』(1871-1881)



ハリリー  
『マカーマート』  
(1847年、ラクナウ)



『千夜一夜物語』  
(1862年、ブーラク)



アブー・ヌワース  
『詩集』  
(1884年、ペイルート)



カズウィーニー  
『鍵の注釈』  
(1888年、デリー)

# Christianity, Judaism and Other Faiths

古くは4世紀のヨハネス・クリュソストモス、5世紀のアウグスティヌス、12世紀のマイモニデス、15世紀のトマス・ア・ケンピス、16世紀のロベルト・ベラルミーノ、17世紀のジョン・バニヤン、18世紀のジョナサン・エドワーズ、19世紀のポール・ド・ラガルドら、キリスト教、ユダヤ教の神学者、聖職者、著述家の著作、キリスト教、ユダヤ教の聖典のアラビア語訳刊本を収録します。

## 《収録著者の一部》

- ◆ ロベルト・ベラルミーノ
- ◆ モーゼス・マイモニデス
- ◆ ジョナサン・エドワーズ
- ◆ ウィリアム・ホーン
- ◆ トマス・ア・ケンピス
- ◆ フーゴー・グロチウス
- ◆ ヨハネス・クリュソストモス
- ◆ アイザック・ウォッツ
- ◆ ミハイール・ミシャーカ
- ◆ ポール・ド・ラガルド
- ◆ ヒッポのアウグスティヌス
- ◆ リシュリュール
- ◆ アルフォンソ・デ・リゴリ
- ◆ ジョン・バニヤン
- ◆ ジョヴァンニ・バティスタ・ライモンディ



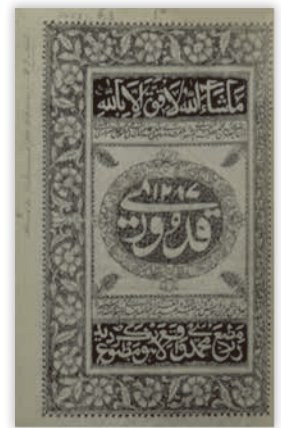
イブン・アラビー  
『叡智の台座』  
(1837年、プーラク)



ヒポクラテス  
『真実の書』  
(1868年、ラクナウ)



ブハーリー  
『真正集』第1巻  
(1870年、プーラク)



クドゥーリー  
『提要』  
(1870年、ラホール)



スューティ  
『カリフたちの歴史』  
(1870年、ラホール)



フィールザーバーティ  
『言海』  
(1872年、プーラク)



ガゼリー  
『誤謬よりの救済』  
(1889年)

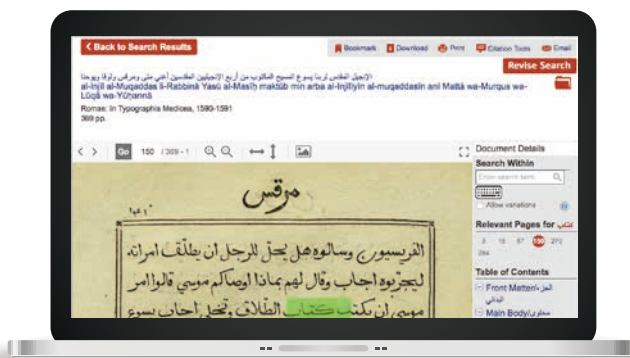


マルギーナニー  
『ヒダヤ』  
(1876年、ラクナウ)

# Gale Primary Sources

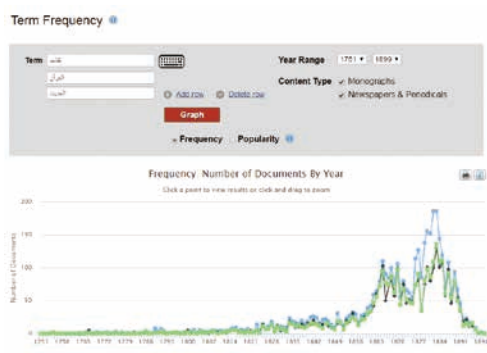
Start at the source.

## デジタル人文学の時代のアラブ・イスラーム研究と 学習をサポートするプラットフォーム



学術資料がデジタル化され、電子リソースが研究と教育の不可欠のインフラになると、研究や教育のあり方も変化せざるを得ません。どれだけ多くのデジタル化された学術資料へ効率的にアクセスできるかが、研究や教育にとって大きな意味を持ってきます。

小社はこれまで、*Eighteenth Century Collections Online*, *The Making of the Modern World*, *Nineteenth Century Collections Online*, *The Times Digital Archive* など、欧米の歴史資料を中心にデジタル化し、全文検索データベースとして提供してきました。*Early Arabic Printed Books from the British Library* は、ラテン文字以外の文献をデジタル化し、全文検索を可能にした、小社の初めての試みです。本データベースは、他のデータベースと同様、コンテンツとメタデータを体系的に紐付け、検索結果をグラフ化する視覚化ツールの実装を行ない、大量の検索結果から意味のある結論へ効率的



※本データベースは他のデータベースとの横断検索ができません

にナビゲートする工夫を図っています。その他、共同研究グループ間での情報共有を想定したタグ保存共有機能、検索結果や注釈を保存できる個人アカウント機能など、デジタル化時代に効率的に研究を進めるための各種機能も充実しています。本データベースは、デジタル人文学の時代におけるイスラーム文化の研究・学習環境をサポートすることを目的として開発されたプラットフォームです。



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヶ月の無料トライアルをご提供しております。商品に関するお問い合わせは、セーンゲージラーニング株式会社までお願いします。  
Tel : 03-3511-4390 E-mail : [GaleJapan@cengage.com](mailto:GaleJapan@cengage.com)